

VLOOKUPのチェック項目

【① 検索値に関するチェック項目】

- 検索値の書式設定は、式と検索範囲で一致しているか
- 検索値は全角か半角か、式と検索範囲で一致しているか
- 検索値のスペル（綴り）は本当に正しいか
- 検索値のあるセルの指定は正しいか
- 指定場所が相対参照でずれていないか
- 計算式で指定している場合、そのセルは実在するか

【② 検索範囲の表に関するチェック項目】

- 検索値のある列に重複はないか
- TRUE検索の場合、検索値は昇順になっているか
- 結合セルが含まれていないか
- 行や列が非表示になっていないか
- 不規則な部分はないか

【③ 検索範囲の場所指定に関するチェック項目】

- 検索範囲の場所の指定は「:」で挟んで指定しているか
- シートやファイル名の指定の仕方は正しいか
(「!」「[]」「'」は正しく使えているか)
- 定義した名前やテーブル名の指定は正しいか
- 範囲指定が相対参照でずれていないか
- 列の数（表の幅）は足りているか
- 検索範囲の行数が増えた時、最下端までカバーしているか
- 検索範囲のあるファイルは「名前を付けて保存」しているか
(「book1」のままになっていないか)

【④ 列番号の指定に関するチェック項目】

- 検索値のある列も含めて数えているか
- 列番号の指定が1以上の数になっているか
- 計算式で指定している場合、正しい数字になっているか

【⑤ 検索方法に関するチェック項目】

- 0 = FALSE、1 = TRUEを理解した上で選んでいるか
- 省略 = TRUEを理解した上で省略しているか